

毎日新聞 平成26年12月17日付

ジュニア防災検定初開催

町教委 2小学校で 災害種類や歴史出題

広川町教委はこのほど、「ジュニア防災検定」(防災検定協会主催)を町立広、南広両小学校で初めて開催し、町内の全小学4年生 63 人が参加した。町教委は来年度以降も継続して取り組んで行く予定だ。

ジュニア防災検定は昨年度から、防災検定協会(東京都)が全国で実施。テストで自然災害の種類や歴史などについて出題する他、受検前に家族と災害時の避難について話し合う課題や、受検後に防災マップ作りなどの課題に取り組むことで、子どもたちの判断力や行動力を養うことを目的としている。

広川町は「稲むらの火」の舞台でもあり、4年生の駒野桃香さん(10)は「学校で地震について勉強していたことが問題になっていたので、全て答えを書けた」と手応えを感じていた。

(川畑展之)